

北日本漁業経済学会 ニューズレター

第34回 ひたちなか大会のご案内

[9/16~17: 於、ひたちなか市ワークプラザ勝田]

今期の学会大会を標記の日程で開催します。大会・シンポジウムについては、春季研究集会での検討も踏まえつつ「漁業の多面的機能」をより包括的に検討するのがねらいです。関係者をお誘い合わせのうえ、皆さんの積極的なご参加を期待します。

なお、一般報告を募集していますので、ふるってご応募下さい。

[大会の日程]

9月16日(金) 9時30分~ シンポジウム, 終了後懇親会

17日(土) 9時30分~ 一般報告・総会

[シンポジウム]

テーマ: 漁業の「多面的機能」に関する検討の課題と展望

(講演)

1. 論点開示 - コーディネーターの冒頭発言 -

廣吉勝治(北海道大学)

2. 漁業の多面的機能に関する国民意識の形成と実態

麓貴光(株・水土舎)

3. 漁業における多面的機能把握の課題 - 学術会議「答申」を対象に -

工藤貴史(東京海洋大学)

宮澤晴彦(北海道大学)

4. 多面的機能に関する支援方策の特徴と課題 - 農林漁業の相互比較 -

吉田 謙太郎(筑波大学)

5. 干潟漁業の実態、機能、課題 - 三河湾を事例として -

鈴木 輝明(愛知県水産試験場)

6. 霞ヶ浦における漁業の現状と施策の課題

二平 章(茨城県内水面水産試験場)

* 以上、仮題を含みます。

(コメンテーターの発言と総合討論)

座長・司会

長谷川 健二(三重大学)

加藤 辰夫(福井県立大学)

【開催趣旨】

学会は今年4月22日、ひたちなか市において春季研究集会を開催し、次期シンポを標記の共通論題で実施しようということで、一定の課題整理を行ってきました。今回のシンポは基本的にこの延長線上での議論ということです。

漁業における「多面的機能」については「水産基本法」32条でも明記され、先頃学術会議においても推進の立場から「答申」(2004.8.3)がありました。そして、今年度から水産庁は「離島漁業再生支援交付金」なる関連施策を発足させています。このような背景から漁業における「多面的機能」の存在と施策を「自明の理」のように評価しようとする識者も少なくないように思われます。確かな実体認識を脇に置いたまま施策展開が一人歩きしている状況も見られます。いかにして、いかなる研究上のテーマと成り得るのか、政策転換の時代にこの問題がいかなる意義を持ち得るのか、それこそ多面的な検討の課題が尽きないテーマだと思います。学会ではいわば未成熟なテーマだと思われませんが、今回、多くの問題提起をしてくれるであろう霞ヶ浦や干潟の漁業問題の分析の知見を加え、今期シンポの共通論題としました。会員各位の積極的なご参加を期待しています。

なお、4月の春季研究集会の内容・後記については、上田克之理事が『水産北海道』6月号・7月号に所見を交え詳しく紹介をされていますので、参考にして下さい。

会場案内

< 茨城県ひたちなか市ワークプラザ勝田 >

茨城県ひたちなか市東石川1279番 TEL:029-275-8000

JR常磐線勝田駅より徒歩10分(後掲,地図参照)。

一般報告を募集します

9月17日(土)開催の一般報告を募集します。

一般報告をされる方は、8月31日(水)までに必着で演題・要旨を送って下さい。なお、ボリュームは原則としてA4・1枚以内です。フロッピーディスクまたはメールで事務局(宮澤)宛にお送り下さい。

発表当日に資料等を配布される場合は、各自70部程度ご用意下さい。パワーポイント、OHP使用等の場合は要旨送付の際申し出て下さい。発表時間は20～25分程度です。

電子メールアドレス：miyazawa@fish.hokudai.ac.jp

TEL 0138-40-8834 FAX. 0138-40-8835

〒041-8611 函館市港町3-1-1 北海道大学大学院水産科学研究院

北日本漁業経済学会事務局 宮澤晴彦

事務局からのお知らせ

シンポジウム、一般報告の開始時間は共に9:30です。お間違いのないように(前回案内の時間を訂正します)。

9月16日(金)、シンポジウム終了後懇親会を予定しています。当日、会場で受付します。なお、大会に際し資料代として一人・千円を申し受けます(当日)。

理事・監事の皆さんは、9月15日(木)18時より、大会会場のワークプラザ勝田で理事会を開催します。本理事会では、役員改選等の重要案件がありますので、ご参加のほどよろしく願いいたします。なお、万一欠席される場合は事務局宛にご連絡をお願いします。

新入会員届け

前回のニュースレター(3/28付)でお知らせした以降、下記の方々の入会を受け付けましたのでお知らせします。

玉置泰司氏(中央水産研究所)

富塚 叙氏(中央水産研究所)

副島久美氏(広島大学大学院)

土江秀治氏(東京海洋大学大学院)

学会ホームページでも大会案内を掲載しています。